

# めぐみ 慈恵

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒800-0035 北九州市門司区別院6番1号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒800-0057 北九州市門司区大里新町11番7号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



11月19日 中学合唱発表会

## ことば

人は自分だけの幸福を追いもとめるために

生きていくものではありません

瀬戸内寂庵

人は誰しも、幸福を求めて生きています。幸福の基準はそれぞれ異なりますが、幸福でありたいと思う気持ちに変わりはないでしょう。

もし私たちにとって、自己の欲望を満たすことが幸福の条件だとすれば、私たちはいつまで経っても幸福になれないのではないのでしょうか。なぜなら、私たちの欲望には限りがないのですから。たとえ望みが叶って幸福が得られたと感じても、それは一時的なものであり、しばらくするとその幸福感は薄れ、また次の欲望が湧いてきます。それが生きる意欲につながることもありですが、欲望を追い求めることにはばかり心を奪われていると、結果的に、自分のことしか考えられなくなってしまうような気がします。

すべてのいのちはつながっています。それ故、自分の力だけで幸福になることはできません。だからこそ、他者と共に生きる道において、お互いの幸福を求める生き方を選び取っていかねばならないのだと思います。

あらゆるいのちが共にあることよって成り立つこの世界にあって、それぞれのいのちが独自の輝きを放ち、その中で私もまた私らしく輝きながら、かえがえのない人生を歩んでいます。そこには、私を私のままに受け入れ、支えてくれている存在があります。その事実が領けたとき、頂きたいのち、生かされるいのちが、より有り難く、より尊いものとして受け止められるのでしょうか。それが、幸福な人生を築く礎となり、決して揺らぐことのないその大地に立てば、過去から未来へと受け継がれていくいのちの歴史を、今ここに生きる私が、他者と共に大切に紡いでいくことができると思います。

# 3年ぶりの開催！！「敬愛祭」



9月10日(土)に、敬愛祭を開催しました。コロナの影響もあり、従来通りとはなりませんでしたが、生徒会を中心に皆で協力しながら、新たな形での敬愛祭となりました。

発表は、チケット予約制による人数制限を行い、別院と音楽室の各ステージに分かれて密を回避し、オンラインでのライブ配信を楽しみました。これまで、なかなか皆の前で発表することができなかった生徒たちもこぞとばかりに日頃の練習の成果を発揮していました。生徒たちがイキイキと活躍する姿は素晴らしいものでした。

『校長先生からのメッセージ』

学校行事やクラブ活動での学びはかけがえないものがあります。気持ちを合わせ、一つの目標に向かっていくところには、主体性や協調性、創造力が求められます。また、成果が生まれた時の達成感や充実感は、大きな喜びを与えてくれます。それらの経験は、すべてが大きな学びとなります。

今後、徐々に本来の形に戻っていく中で、再び地域と学校の絆を深める場としての敬愛祭の意義も大きくなっていくと思われれます。



3年ぶりの敬愛祭ということで、久しぶりに開催できてとても嬉しかったです。

僕が、司会をやらうと思ったきっかけは、『憧れ』です。前回行われた敬愛祭の時は僕はまだ中学2年生で、そのときの先輩達に「憧れ」を持ちました。どのような部分に憧れを持ったのか、それは、アドリブ力です。状況に応じた対応力を見て終始驚きが止まらず、「来年は、自分があの役をやりたい」と思うようになりました。

しかし、そこにコロナが重なり、しばらく開催することができませんでした。ですが、今年度開催することが出来たので、真つ先に司会役に応募し、憧れの舞台に立つことが出来ました。

今年司会を担当したものの、やはりアドリブは難しく、進行の中では詰まってしまった時もありましたが、他の司会の人達が繋いでくれました。それがとてもありがたかったです。自分ももつと頑張ろうと思いました。

高校生活での最高の思い出ができてとても嬉しかったです。

高校2年

前田 恵太(敬愛中出身)

私は敬愛祭で装飾の実行委員になり、別院のウエルカムボードを作りました。今回の活動は高校生と一緒にいい、多くの関わりを持つことができました。

また、初対面の高校生と活動することは少し不安がありました。とても優しく丁寧に仕事を教えて下さったので楽しく活動することができました。また、たくさんの仕事を兼任し、他の実行委員ともコミュニケーションを取ることができました。

この活動で学んだことは、自分から積極的に活動を行うことです。高校生と一緒に活動をしていると自分は消極的になりがちだったのですが、この活動を通して自分から活動することのでたくさんのコミュニケーションが取れたと思います。

また、私は今学期から生徒会にも所属しています。敬愛祭で学んだ自分から積極的に活動を行うことと周りとは話し合いながら協力することを意識しながら今後の活動に活かしたいです。

中学2年

磯奥 百和子(名池小出身)



# 中高の探究活動紹介

## ビジネスプランコンテスト

これからの社会では「答えのない解」に向き合うことが増え、納得できる解を見つけていく姿勢を養うことは、とても大切になってきています。社会を学び、様々な課題を自分ごととして捉え、考えられる姿勢を学んでもらおうと、敬愛では今年度より中学2年生で起業家教育をスタートしました。社会のしくみについて学んだ後、社会課題を解決するビジネスプランを考え、プレゼン発表しました。北九州市職員・大学教員・起業家の方を審査員としてお招きし、内容についてのフィードバックをしていただきました。生徒たちにとってより良い学びに繋がったようです。



## 【生徒の感想】

私はこの取り組みで学べたことが2つあります。1つは、意見を出すことの大切さを実感できたことです。テーマを決める時、意見を出すことで話し合いが進んだり、資料を作る時に改善点を伝えることで資料がもっといいものになりました。

2つ目は、メンバーでの活動はとても大きな力となることです。私はこの起業のプランを考えるとき、個人で考えた方が楽だし、いいものができると思っていました。しかし、今振り返ってみて意見を出す時や資料を考えると、他のメンバーが意見を出してくれたお陰でこのプレゼンができたと思います。自分一人だったら、短時間でこのプレゼンを考えることができませんでした。メンバーで活動することができました。メンバーで活動することができなくなりました。



## 服のチカラプロジェクト

中学2年生は、株式会社ファーストリテイリングが実施している「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加しています。この活動は、サイズアウトした子供服を回収し、ウガンダなどで生活している難民へその服を送る活動です。世界中に難民が約8000万人いて、そのうちの半数が子供たちだそうです。

生徒たちは、「小さくなって着られなくなった服を集め、必要としている人たちの役に立てるようにしたい。」という思いから、この取り組みを9月からスタートさせました。案内のチラシや回収ボックスを作ったり、大人の方々に協力をお願いしたりしてきました。10月18日の段階で、2000着を超える子供服が集まりました。11月19日・20日には、北九州市主催のエコライフステージにも参加し、子供服を集めました。ご協力ありがとうございました。



## 高校総合探究の時間

高校1年生の総合的な探究の時間では、SDGs地域企業連携プロジェクトと題した探究活動を行っています。地域・企業の方々から課題を提示していただき、その課題に対して生徒目線で調査し、解決策を提案するプロジェクトです。現在は、フィールドワークに出かけていくための準備を行っています。

探究活動に対して、前向きに取り組み、実践のある取り組みに対しても、興味を持っている生徒が多くなります。

高校2年生の総合的な探究の時間では、生徒自身がテーマを決め、そのテーマを探究していきます。生徒たちの中には、実践的な取り組みを行うグループもあります。

先日は、起業に興味のある生徒を対象とした起業講座を卒業生である西前さんをお招きし、開催しました。今後の取り組みが楽しみです。



# KEI AI E S K I 小学校スクールライフ

ICT公開研修会2022 開催

令和元年、九州では初となる『ロイロノートスクール・ユーザー会』を主催して、3年ぶりにあたる今年、九州各県はもちろんのこと、遠くは東北・関東からも教育関係者の皆様に来校いただき、『ICT公開研修会2022』を本校にて開催いたしました。

今回の研修会では「ICT機器を活用した学習者主体の学びづくりを考える」というテーマを設定し、①一人一台iPad導入9年目、日本最多の認定ティーチャーが在籍する本校の取り組みを紹介②OXFORD QUALITY日本初認定校で1年生から行う週3時間の英語授業でのiPad活用実践例を紹介

③講師（小・中・高校）による授業実践事例紹介  
④参加者の皆様との意見やアイデアの交流

を実施しました。龍校長の『これからの時代をたくましく柔軟に生きる子どもたちを育てるために、教員の役割がますます重要になってきます。主体的に協働的に学ぶ姿勢を育むことや、それらにICTを活用することがさらに求められ、教育は大きく転換しています。新しい教育と一緒に考えていきましょう。』との挨拶に始まり、約4時間、先生方は真剣な眼差しで臨まれていました。国語科の研究発表を担当した本校教諭は、『参加いただいた



皆様との交流はとて有意義な時間でした。発表では本校児童の成長した姿をお伝えすることができました。』と笑顔で話されています。

敬愛小学校  
各教科の研究発表・実践報告

## 国語科

iPadを授業で活用するときの『使う場面とその使い方』について、本校の国語科では、従来の学習スタイルと併用しながら、子どもたちが主体的・協働的に学習に取り組むことができるiPadの効果的な活用法についての研究報告。

## 社会科

ロイロノートの効果的な活用による問題解決能力の獲得及び育成について。また、その育成プロセスの実践報告。

## 算数科

基礎的・基本的な知識及び技能の習得かつ、数学的な思考力・判断力・表現力を効果的に育成するためのiPad活用の研究報告。数学につながる算数の授業の在り方について。

## 理科

『よりわかり易い授業展開を目指して、いかに子どもたちと繋がり、学習を楽しむことができるか』についての授業実践報告。



## Elementary English Classroom

We presented several ways to use LoiloNote software and other ICT tools in our English class, in terms of 4 skills(listening, reading, speaking, and writing).

4つの技能（リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング）のそれぞれに合わせたロイロノートやその他ICT機器の活用方法を実践報告。

## 参加された先生方の声

敬愛小の実践は子どもたちの将来を見据えた実践だと感じました。敬愛小に近づけるように明日から頑張つて取り組んでいきます。モチベーションアップに繋がりました。

公開研修会でたくさんの実践を紹介・解説していただき誠にありがとうございます。どの研究内容も教員の方々の熱意がこめられており、素晴らしい工夫ばかりで、とても刺激を受けました。私自身、まだロイロノート、iPadを使い始めたばかりで使いこなせていないと感じていたところでした。さっそく本校の実態に合わせて取り組んでいこうと思います。

小・中・高校のそれぞれのエキスパートの講師の先生方の実践に基づく話は、特に、勉強になりました。ツールを有効に使いつつ、マイルドの方も変化させていきたいとつくづく感じました。自分の意識を高く持ち教育活動に携わっていきたいと思います。



# 幼稚園通信

## 9月 なつまつり

少し暑さも和らぎ、浴衣や甚平姿で、盆踊りやヨーヨー釣りなどなつまつりならではの体験を満喫することができました。少しずつ制限が解除され、家族みんなで楽しめる行事が増えていくことに喜びを覚えています。当たり前の行事が、当たり前ではなく、ありがたく貴重であったこと。子どもたちと共に手を合わせながら、心に留めています。平穏な毎日に感謝を忘れず、幼稚園ならではのたくさんの体験、経験を積み重ねていきたいと思っています。



## 作品展・バザーがありました

子どもたちの日頃の作品作りを展示する作品展と、父母の会からのバザーを行いました。バザーは3年ぶりで、リュウスの制服・手作り品の販売がありました。室内での作品展はクラスごとに観覧時間を設け、ご家族皆様で楽しんでいただきました。キラキラとした目で、作品を紹介する子どもたちの様子や、嬉しそうに写真を撮っているご家族の姿に、笑顔あふれる幸せな時間となりました。

### 保護者の声

○「あと何回寝たら作品展？」と先生にも家族にも毎日尋ねていた息子が、当日、スーパーボール掴み取り・輪投げを楽しみ、それぞれに景品ももらい興奮していました。また、園の中全体を使って綺麗に飾り付けしており、各学年それぞれの世界観が表現されていてフォトスポットもあり、子供も親もいつもとは違う特別な幼稚園に引き込まれました。

これだけ準備されるのはとても大変だったと思いますし、先生方の園児への想いを感じ取る事が出来ました。いつも行事を支えていらっしゃる父母の会の皆様やおとうさんくらぶの皆様、園児のために頑張って下さる先生方に感謝致します。ありがとうございました。



## 第45回 運動会

3年ぶりとなる全学年での開催に、ご家族ご親戚の方々、皆さんで子どもたちの成長を喜び、楽しい1日を過ごすことができました。年長児は、組立体操やマーチングで運動会を盛り上げてくれました。一人ひとりの力が集まって一つの大きなものが出来る過程を経験し、大きな自信と勇気をつけてくれたことと思います。年中児はバールンで、年少児と満3歳児は一生懸命走ることに、お返事をすることを見事に披露してくれました。45周年を記念して、保護者によるクラス対抗綱引きが行われ、賑やかな運動会となりました。

### 保護者の声

○毎年より良い運動会にしようとして下さっている先生方の思いが伝わります。そして、先生方の一生懸命な思いや頑張りがあってこそ、子供達にも伝わって一生懸命に頑張ってくれて、毎年、素敵な運動会になっているんだと思います。何より子供達が頑張って練習して、その姿を見られる事が私達にとって一番の運動会の良さです。子供達の成長した姿を見せて頂き、ありがとうございます。

○初めて全学年合同の運動会に参加し、頼もしく力強い子ども達の姿に感動致しました。各クラス席にスローガンが貼ってあり、園児席に色とりどりの帽子を被った可愛い園児たちがいて、運動場の雰囲気にとってもわくわくしました。我が子も、当日の雰囲気最終笑顔で、一緒に応援していた祖父母も嬉しそうでした。運動会を通して、担任の先生はもちろん体操の先生も含め色々な方に成長させてもらっていると改めて感じました。

45周年という節目の運動会に参加する事ができ、子供の成長・人の繋がりに心が温かくなりました。先生方、お手伝いの保護者様やおとうさんくらぶの皆様感謝致します。



## 「手と手を合わせて」



また時間をかけ、どこで間違えたのかを振り返る。そんな修行のような努力はとても大切です。

ドイツの数学者ガウスが7才の頃、同じ質問を受けた時すぐに「5050」と導き出したそうです。なぜ素早く何も使わずに解けたのか？

一度しか使わない数字をセットで同じ数字にして積み重ねていく。一度しかない今を誰かとセットで同じ私として積み重ね生きていく。

一人でいると、なかなかセットの私と想像するのは難しいかもしれません。けれど実は私たちは誰もが経験者なのです。それは私が母のお腹にいたとき、二つの命が一つとなつて生きていたことがあるからです

今の私とセットで寄り添ってくれる人は誰でしょうか？

友人であったり、兄弟、姉妹、親、ご先祖、お世話になつていてる人、私と縁のある様々な方が浮かんできます。

同じ「5050」という答えが、たどりで着く人生の道や目標だとすると、大きな大きな視点から見れば、私はどちらも大切な歩みかたではないかと思えます。

手と手をあわせて・・・合掌。  
一人であるけれど一人でない。  
必ずそばにいるから。

$$1 + 2 + 3 + \dots + 9 + 10 \parallel ?$$

$$(1 + 100 \parallel 101) \quad (2 + 99 \parallel 101)$$

$$(3 + 98 \parallel 101) \quad \dots$$

$$(49 + 52 \parallel 101) \quad (50 + 51 \parallel 101)$$

$$\downarrow 101 \times 50 \parallel 5050$$

なるほど。順番に最初と最後の数字を足していくと、すべての合計が101となり、101が50セットと考える。気づいてしまえばそんなこと。けれど発想の転換や最初の発見はなかなか難しいものです。

人生に例えると、うれしい時やかなしい時にいつも誰かが寄り添っている。コロナと変わる気分屋の私に、いつも同じ私として認めてくれる存在がいる。

1 + 2 + 3 + ... + 9 + 10 || ? と答えを急に聞かれると、なんとか55と答えることができます。  
では、1 + 2 + 3 + ... + 99 + 100 || ? と聞かれるとどうでしょう？  
電車もしくは紙とペンが欲しくありません。電卓を使うと速さは上がりませんが、ふと途中で考え事をして見失ったり、打ち間違えると最初からやり直さなければなりません。  
また、紙とペンで計算すると、間違えた場所を振り返ることはできませんが、時間はかかります。  
人生に例えると、仕事や勉強などコツコツ積み重ね、挫折や失敗して最初からやり直す。

## 中学新生徒会紹介

敬愛に新しい風を吹かせます！

中学2年 橋村 直樹（敬愛小出身）

昨年引き続き、敬愛中学校生徒会長に就任した橋村直樹です。

僕が掲げる公約は、「服装頭髮の校則を変える」ことです。

多くの生徒が、これを生徒会にして欲しいと思つているはずで

そう言つた声を先生たちに届ける架け橋になればと思います。

敬愛中学校に新しい風を吹かせます！



### 放送部

福岡県高文祭放送コンテスト 北九州地区大会

アナウンスの部 第4位

朗読の部 第2位 高校2年 鶴田 智大（門司中出身）

入賞 高校2年 仲 花菜代（名陵中出身）

入賞 高校2年 西垣 柚菜（曾根中出身）

入賞 高校2年 西垣 柚菜（曾根中出身）

福岡県高文祭放送コンテスト 福岡県大会

朗読の部 入選 高校2年 西垣 柚菜（曾根中出身）

テニス部

第47回 北九州市テニス新人王座大会

シングルス 優勝 高校3年 小山 充輝（敬愛中出身）

個人発表

高円宮杯 第74回全日本中学校英語弁論大会 決勝大会

5位 中学2年 渡辺 悠平（敬愛小出身）

## さまざまな活動の成績



在校生の皆さん、初めまして。平成29年度卒業生の平嶋ななみです。私は、敬愛中学校に入学し、6年間鎮西敬愛学園でお世話になりました。高校卒業後は、1年間台湾語予備校に通い、令和元年9月に台湾の東海大学政治学科国際関係学部へ、入学しました。

台湾の東海大学入学後は、語学の壁や、勉強に追われながらも、バドミントン部へ入部し、サークルのイベントを企画し、参加することで、多くの友人に出会うことができました。大型連休は友人の実家に遊びに行き、山登りやバーベキューをしたりと、充実した大学生生活を送っています。現在4年生で、2023年6月に卒業予定です。卒業後は、台湾で学んだことを活かせるような仕事に就きたいと思っています。



私がなぜ海外留学に憧れたのか、話させてください。

私は、中学生の時、英語が1番苦手でした。みんなは英検5級に合格していました。私は不合格でした。そんな中、韓国姉妹校学生のホームステイの募集があり、英語の苦手意識を克服するため、また、韓国に興味があり、両親に、ホームステイを受け入れたいと、相談しました。初めての経験で、手探りでわからないことばかりでしたが、わくわくしていました。迎え入れたパートナーは、日本語、英語を話すことができ、語学力の違いに驚き、同時に自分の不甲斐なさを実感しました。私の英語

力では、今後ホームステイの受け入れが出来ないと思い、それから、英語の勉強に力を入れ、海外研修に積極的に参加し、ホームステイの受け入れをしました。外国人との交流で、とても刺激を受け、大学で、語学力を身につけたい、海外の大学へ進学したいと思いました。

在校生のみなさんは、宗教（仏教）の時間で何度も「ご縁」という言葉をよく聞くと思います。私も、その韓国人の方とのご縁がなければ、海外に興味もなく、日本で大学生活を送っていたと思います。ご縁は身近なところにもあると思います。小さなご縁が、きっかけとなり自身の将来にとって、大きな影響を与えるかもしれません。ご縁を大切に、そして今しかない学生生活を楽しんでほしいです。

## 人工衛星宇宙へ

夏号の『慈恩』でお伝えしていた人工衛星打ち上げプロジェクト「Project S」のその後をお伝えします。7月15日（金）にアメリカのケネディ宇宙センターからイーロンマスク氏率いるスペースX社のファルコン9ロケットで打ち上げられ、およそ10分程度で宇宙空間に到達しました。その後、ISS（国際宇宙ステーション）とドッキングし、8月12日（金）に宇宙空間へ放出され、現在地球周回軌道上を回っています。理料研究部部長の篠崎雄太さん（高校3年）からのメッセージを紹介します。



ISSにドッキングするロケット

私が人工衛星の打ち上げを見て一番に感じたことは、今までの繋がり（縁）への感謝です。ロケットが打ち上がり大気圏に突入するまで成功するか心配な気持ちだけでなく、これまでの楽しい思い出や苦しい思い出の数々を思い返しながら見ていました。そして、大気圏にロケットが到着するまで長いようで短い時間は、私の人生の重要な1ページになりました。

敬愛に入学してからの理料研究部で過ごした6年間があったからこそ「日本初の中高校生による人工衛星打ち上げ」という素晴らしいことを成し遂げられました。この結果は、「不可能を可能に」という私たち『Project S』の信念に沿って行動した賜物だと思っています。今まで私たちの活動を応援していただいた方にこの場を借りて感謝の言葉を送ります。私たちの活動を応援して下さりありがとうございました。



打ち上げを見守る生徒たち



ISSから人工衛星が放出される瞬間



人工衛星プロジェクトリーダーとの記念撮影

# 敬愛中学校・敬愛高等学校 2023年度入試日程

## 敬愛中学校

入試日 **1/5 木** 一般入試  
自己推薦入試

- ◇出願期間 12/9 (金) ~ 12/16 (金)
- ◇合格発表 1/7 (土)
- ◇手続日 (自己推薦) 1/12(木) ~ 1/14(土)  
(一般) 1/12(木) ~ 1/17(火)

※英語検定・漢字検定加点制度有り

- 英語検定 4,5級 5点 3級以上 10点
- 漢字検定 5,6級 5点 4級以上 10点

特進コースに適性試験型入試を導入 **new**

自己推薦入試

教科試験型

国語・算数＋面接

↑ 選択可能 ↓

適性試験型

適性試験・作文＋面接

一般入試

教科試験型

国語・算数・社会・理科

↑ 選択可能 ↓

適性試験型

適性試験・作文

## 敬愛高等学校 **グローバル探究コース新設**

入試日 **1/20 金** A 推薦入試  
B 推薦入試

- ◇出願 1/6 (金) ~ 1/11 (水)
- ◇合格発表 1/24 (火)

※英語検定・数学検定・漢字検定加点制度有り

- 英語検定 3級 5点 準2級以上 10点
- 数学検定 3級 5点 準2級以上 10点
- 漢字検定 3級以上 5点

入試日 **2/2 木** 一般入試

- ◇出願 1/6 (金) ~ 1/11 (水)
- ◇合格発表 2/7 (火)



# 英検合格おめでとう！

第2回英検合格者数  
(中学・高校合計)

**2級 16名**  
**準2級 23名**  
**3級 44名**

今年度より生徒のみなさんには、1年間に3回実施される英語検定のうち、必ず1回は受験し、自分の実力を試してもらおうようになりました。大学入試のみならず就職の機会でも、検定や資格を持つていることが役に立つという事は周知の事実ですが、「検定を受けるに至るまで」にも、それこそ社会に出た後でも活きる、大きな意味があると考えています。

検定受験をきっかけに、学習を通して、目標をもつ(目標設定)↓達成するための課題は何かを考える(課題設定)↓計画的に取り組む(計画・実践)↓振り返りの循環を習慣として身につけることにも繋がってくると思います。それを考えれば「検定を受けるに至るまで」が、結果と同じくらい大切なものになることも学んでほしいと考えています。